



広島市議会議員  
母谷たつりのり

- 定例会
- 不正経理問題
- 突然の退任表明



謹啓

21世紀を迎えてあっという間の10年が過ぎ去りました。

皆様、新年明けましておめでとうございます。

仕事始めの1月4日の朝、突然、「秋葉市長4選不出馬」のニュースが飛び込んできました。平和政策に偏重した市政運営の結果、旧市民球場解体、五輪招致検討問題、不正経理問題が大逆風になった上、最大の支援団体である連合広島や民主党は4選の推薦をしないことなどあらゆる面でマイナス材料が重なっていました。今後、市長選の動向から目が話せそうにありませんね。

また、国政では嵐のような政権交代から僅か1年余りの間に民主党政権が露呈させたものは一体何だったのか。「国民の生活が一番」と声高に叫び、「マニフェストは国民との約束」と言いながら果たせない公約の連続でマニフェスト自体を信用なきものに貶めた政治的責任は償いようのない民主党政権の失態だと思います。

混乱する政治、不透明な経済状況は正に混迷の真っ只中に入っていると聞いていいでしょう。

特に普天間基地移設問題、中国漁船衝突事件や北朝鮮の韓国・ヨンピョン島砲撃事件などでは危機管理能力の乏しさが国民を恐怖のどん底へ陥れ、国家主権の象徴である外交・防衛能力の稚拙さが国際信用力の低下を招いています。国民の満足度を高めるためにはしっかりとした政権担当能力を備えることが必要です。

今年の広島地方は元旦が素晴らしい日本晴れとなり、清々しい新年を迎えることが出来ました。皆様にとって今年が幸多き年となりますよう心から祈念いたしております。 謹白

## 12月定例会〈平成22年12月7日～17日〉

平成22年第5回定例会は上記日程で開催され、予算案2件、条例案7件、その他の議案11件が上程され原案可決されました。

なかでも7月に会計検査院の指摘で発覚した平成16年度以降の**不正経理問題**は当初予定された平成21年度決算の審議日程を大幅にずれ込ませ、本来は12月議会で結論が出るはずでしたが越年審査となりました。自主点検と称した市当局による調査報告は6年度分を3年度分の点検に留め、残り3年度分は推測で片付けようという杜撰としか言いようのない内容であり、秋葉市長の**市民に対する無責任さ**が明らかになりました。議員の中には通常業務が停滞するから推測で良いというようないい加減なことを言う人もいましたが、絶対にそんなことはありません。きちんと全容を解明し、市民の前にその実態を報告できなければ再発防止どころか体質の改善を到底望むことは出来ません。かつて私が電電公社に入社した年に同様の問題が発生しましたが、3年がかりで徹底的に調査し全容を解明した上で処分が行なわれ、綱紀粛正を合い言葉に再スタートしてその後の大幅な成長、発展に繋がりました。

しかし、当局は市長の給与を100分の20減額1ヶ月(26万2千円)で**早々の幕引きを図ろうとする議案**を提出しました。議会はこれを可決しましたが私は全容解明を求めて反対しました。

また、名ばかりの議会基本条例が強引に可決されましたが、内容が不十分な上、全会一致とならなかつたため反対しました。現状の議会ではとんでもないことが次々に強権と数の横暴により議決されています。



平成22年11月  
市政報告会(佐伯区民文化センター)

## 不正経理問題

広島市は昨年7月、会計検査院の検査によって平成16年度の支出に違法な内容が含まれているとの指摘を受けました。(詳細は前号を参照)

本来、すぐにそのことを発表することが市長の責任ですが、秋葉市長は不正経理発覚を伏せて平成21年度の決算審査が始まる直前の9月末になってやっと議会に報告しました。これは責任問題を問われることを恐れた市長が決算特別委員会を空転させ、あらかじめ議論が進まないよう見込んで時間稼ぎを行なうため藤田議長と仕組んだ**議会工作**の日程調整でした。行政のチェックを行なうはずの議長がこのようなことをしていること自体に大きな問題があります。

市当局による自主点検の結果、16年度以降の6年度全体で8億5千8百万円の不正が発表されました。地方自治法では職員が故意または過失による損害を与えたときは監査委員による調査で損害額を確定し、期日を定めて賠償することを規定しています。ところが今回の対応では法律上の**損害**と認めたくない秋葉市長は**不適正な額**として処理し、その姿勢が市長の給与カット、職員は役職に応じて弁済する(実際は拘束力の無い寄付)という任意の措置がとられました。その結果、**市長の給与1ヵ月分20%カット**が議案として提出され、総務委員会では賛成少数で否決されたものの、翌日の本会議では市長支持派の賛成多数で可決されるというビックリするようなことが起りました。議会は市長の責任逃れを許したことになります。

<b>《総務委員会》</b> (委員長:公明党)		
賛成	市民連合2、共産党1、ひろしま未来ク1	<b>合計 4</b>
反対	自民新政ク2、ひろしま政和ク1、市民市政ク1、 薫風会1	<b>合計 5</b>
<b>《本会議》</b> (議長:市民市政ク)		
賛成	市民連合9、公明党8、共産党5、市民市政ク5、 爽志会3	<b>合計 30</b>
反対	自民新政ク9、ひろしま政和ク8、新保守ク3、 ひろしま未来ク2、市民市政ク1、薫風会1	<b>合計 24</b>

※ひろしま未来クの議員は委員会と本会議で態度を変更しました。  
また、市長支持派の市民市政クの1人は反対を貫きました。  
(裏面に続く)

私が直接  
ご返事します

あなたの声を聞かせてください  
いい汗流そう! いい笑顔つくろう!

ご意見  
ご要望は

## 母谷たつりのりホットライン

TEL.929-9002 info@motani.jp



〈不正経理問題の続き〉

広島市は**不正を不適正に、調査、監査を点検に、損害額、賠償額を弁済金**に言い換えてこの問題に対応してきました。

本来、法律に基づいて処理すべきところを都合のいい解釈と処理で意識的に**損害額**と認定せず、組織ぐるみで隠蔽工作を凶

り脱法行為を公に認めさせようというあつてはならないことが平然と行なわれました。

これは**市長と議長による長年の癒着**が招いた結果であり、議会改革の根本はまず、こうした状態の解消を図ることが先決だと思ひます。

# 突然の退任表明

今年1月4日、秋葉市長は仕事始め式で「次期市長選には出馬せず、市長としてのピリオドを打つ」と延べ今季限りでの退任を表明しました。これに先立つ午前9時45分頃、NHKで菅首相の年頭会見が行なわれていました。ここへ「秋葉市長今季限りで退任の意向」を知らせるテロップが流れました。即座にNHK記者に連絡し確認を取ると間違いなことが分かりました。

余りにも突然のことでビックリしましたが、オリンピック招致、西飛行場の市営化、旧市民球場の解体と跡地利用など年末までは4選出馬が確実視されていただけに誰もが驚いたに違いありません。

当初から4選のハードルが高いことは誰もが認めるどころでしたが、'09年10月に突然、オリンピック招致を検討すると発表しました。市長はこのことを4選出馬の大きなポテンシャルと推進力にしようと考えていたことは想像に難くないところです。ところが基本計画案が発表されると全体予算は4,491億円という大変な緊縮予算でした。

これまでの東京、大阪、名古屋、福岡に比べて60%程度の予算にもビックリしましたが、財政計画の内、約1,000億円を寄付に頼るといふ脆弱な内容やオリンピック閉会后に建設資材の売却で約500億円を回収するというような夢物語で構成されている事が明るみに出ると市民の反応は益々反対が増幅し、市長の思い描いたシナリオとは大きくかけ離れた様相を呈していました。

もともと最大の支援団体である連合広島と民主党は首長の4選に至っては推薦・支持しないというルールがあるためオリンピック招致を起爆剤にしようと考えているという見方が議会内では一般的でした。

また、**旧市民球場を解体し商工会議所を移転する**という問題についてもその費用を巡って行政と商工会議所双方の言い分が対立しており、暗礁に乗り上げていました。そもそも商工会議所の移転問題は「平和公園のバッファゾーンに黒い建物は邪魔」と言う秋葉市長の主張から始まったものでした。そのためには商工会議所の移転が必要で旧市民球場を解体し、跡地の一角へ立て替えるという計画が持ち上がりました。必然的に商工会議所の解体、土地の売却、取得の後に建設するという費用が必要となります。広島市の都合で移転するというのに全くの補助金なしで移転するということは商工会議所としては当然のこととして承服できるはずがありません。

新球場建設で秋葉市長から大規模な寄付を迫られた経済界はこの上に商工会議所の移転費用、オリンピック招致費用にかかる寄付など度重なる資金負担を求められれば首を縦に振ることは出来ません。こうした状況にあって続投意欲満々だった大田哲哉前会頭もオリンピック招致基本計画が正式に発表されるや否や待っていたかのように健康問題を理由に退任を表明しました。秋葉市長の経済界との強い繋がりはこの人なくして有り得ませんでしたから市長にとっては大変な痛手となったことに違いありません。

得意の平和行政に傾倒した結果、商工会議所の移転問題を引き起こし、市民の大事な財産である旧市民球場の解体へと発展してさらにオリンピック招致で行き詰るといふ皮肉な結果となりました。

また、退任表明に当たっては記者会見を開かずマスコミの取材にも応じないという強硬な一面を覗かせています。自ら録画したと思われるビデオをユーチューブに投稿し、一方的に退任に至った理由を箱根駅伝になぞらえて「**襷をつないで欲しい**」と身勝手な言い分で結んでいます。

突然の退任表明と会見、取材拒否は一体どのような意味を持つのか本人のみぞ知るのかもしれませんが、不正経理の**住民監査請求の提出**が責任問題に発展するのを警戒したのかも知れません。



Challenge 21

## 母谷たつりの事務所

〒731-5114 広島市佐伯区美鈴が丘西5丁目17番12号 TEL.929-9002 FAX.927-7080 E-mail info@motani.jp

市議会 TEL.504-2227 FAX.249-4010

広島市議会ホームページ

検索

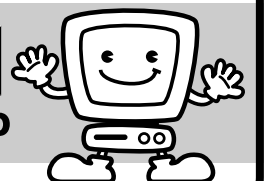
検索してね!

母谷たつりのホームページ

検索

http://www.city.hiroshima.lg.jp/gikai/

http://www.motani.jp



「明るく、元気で、魅力ある広島」の実現!